

# 代表質問、一般質問で市長の選挙公約質す

## 安井直明議員

11/24 に代表質問

新市長の所信表明を受け、市政評価や市長選での公約、安倍政権に対する所見、市長選挙での争点政策の3点について代表質問を行いました。今議会ではっきりしたのは、「所信表明で市政評価や約束(公約)について、なぜ具体的に言わなかったのか」の私の質問に、「新人市長のため公約実行には詳細な事務的検討のうえに、議員の理解が必要なため」と答弁。その一方、甲賀病院跡地を利用した「櫻の杜」構想は白紙に戻す、国からの内示も取り消したうえで、仮称西部学校給食センターの建設用地を変更するとの答弁です。この姿勢は、市長独断で議会に全く説明もなく、市民から選ばれた議員や2元代表制を無視するものです。

暴走する安倍政権の憲法違反の戦争法や原発廃止、消費税増税反対、TPP反対などに対しては憲法の大切さを強調しましたが、他は国で決めることと明確な答弁はありませんでした。

選挙戦での争点に挙げた庁舎建設や「櫻の杜」構想に「100億円?の無駄なハコモノ」と批判、夕張のような赤字再建団体になるなどは、確実な事実に基づいた批判でないこともわかり残念に思います。ただ、幼保・小中学校の再編計画の見直しや、小中学校のエアコン設置を2年間で実施するなど市民の願いに応えた答弁もありましたが、わが党が補欠選挙で取り上げたお約束や、前中嶋市長の公約からも大きく後退しています。これらの願い実現に引き続きがんばります。

## 山岡光広議員

12/6 に一般質問

12月議会一般質問では、①政治団体「社会活力研究会」と岩永氏の関係、②75歳以上後期高齢者の健康診査と保険料の特例軽減措置の継続、③就学援助制度入学準備金支給時の改善、④国民健康保険制度の広域化について、⑤旧甲賀病院跡地利用、⑥子どもの医療費を中学校卒業まで拡充について、質問しました(通告は人口減少問題も含めて7項目でしたが時間が足りず6項目に)。

このなかで朗報は、75歳以上の高齢者に対する健康診査が新年度から拡充されることに。一昨年「現に生活習慣病等で医療機関にかかっている人を除く」としたために、健診通知を送る対象が大幅に制限されました。

私は昨年12月議会で改善を求めるとともに今年10月には広域連合に直接出向き改善を求めました。こうした動きが実って新年度から「生活習慣病であっても過去一年間に血液検査等を行っていないければ健診通知を送る」ことになりました。

子どもの医療費は前市長が「新年度から中学校卒業まで拡充」と約束していましたが、岩永市長は「小学6年生」までに。旧甲賀病院跡地利用は「櫻の杜構想は白紙、今後の利用は議会と市民の意見を聞いて」と答弁。しかし市長選で「100億円のハコモノ」と批判してことについてはその根拠を指摘しても全く示すことができませんでした。

## 小西喜代次議員

12/6 に一般質問

一般質問では6つのテーマを予定していましたが、信楽田代地先の採石場での廃棄物投棄は質問時間が足りず今回は質問できませんでした。

1.甲賀市幼保・小中学校再編計画では、新市長の基本的な認識を質し、特に所信表明で「必要な計画を加える」と述べられていることから、住民合意が前提、教育委員会の独立性を確認。

2.(仮称)西部学校給食センターは、造成工事着工目前に「計画変更」とされたことから、経過、理由、議会との関係について質しましたが、納得できる答弁ではなく、早期の着手が必要ことから引き続き議論となります。

3.信楽高原鐵道の社長人事に副市長でない方を推薦したことについて、今回変更した経過、理由を質問。社長不在の事態を1日でも早期に回避する必要性から推薦したとの答弁。

4.コミュニティバスの充実では、80才以上無料制度を75歳までに拡大することなどを求めましたが、多くの財源を必要とすることから考えていないとのことで。これは前市長の政策からは後退です。

5.福祉・介護の充実では7項目質問。特に市長の公約に特別養護老人ホームがふれられていないことから、認識を質しました。介護保険事業計画で必要な整備数を定めるとのこと。

全体としては、これといった前進面がない答弁でした。

TPP、カジノ、年金カットの三大悪法強行の自民公明維新!

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2016年12月18日 NO177



安井 直明  
土山町前野 541  
Tel 67-0147  
Fax 67-1660



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨 456  
Tel 83-0765  
Fax 83-0765